

平成 28 年度 第 9 回 理事会議事録

日時：平成 28 年 12 月 20 日（火）19：00～20：00

場 所：県土会事務所

出席：（理事）小林伸、高村、磯野、有泉、井村、名取、
古屋、三科、大西、
（部長）入倉、小林

欠席：（理事）北山

書記：鷹野

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 1 件 施設数 125 会員数 840 名（施設
会員 786 名、自宅会員 54 名）（12 月 19 日現在）

I. 審議事項（全 2 題）

1. イベント用品制作について（大西広報局長）
協会より理学療法週間事業のイベント用品制作について、今年度のみ 5 万円を上限に補助が出ると通知があった。補助に関しては、長期間使用できるものを作ることが条件となっている。部のほうで検討した結果、のぼりを作成したいと考えている。

（意見）

- ・金額はもう少し安いものがあるのではないかと
- ・ポールはあるものが代用できるのではないかと
- ・この申請は今年だけのものか？
→今年度のみとなっている。
- ・今後のことも考えてパネルも検討してはどうか？
→県民の日で作ったものがあるので、それを利用していく。

（結論）

- ・申請をする方向で進める。
- ・金額については、もう一度見直して検討していく。

2. 第 17 回地域理学療法研修会について

（三科福祉厚生局長）

来年度の研修会になるが、第 17 回地域理学療法研修会について、審議していただきたい。

テーマは案の段階で検討中だが、理学療法士の市川先生を招いて例年通り 9 月～11 月の土日で研修会を開きたい。まだ予算編成もされていない中ではあるが、今年度並みの予算でおさまることは確認している。講師の日程を抑えるためにも、審議をお願いします。

（意見）

- ・今年度の研修アンケートの中でも実技に関する意見があったが、そのことを加味してなのか？
→15%ほどの意見があり、それを踏まえての研修。
- ・来年度のことなので、総会の承認をうけないといけない。

（結論）

案の方向で進めさせていただく。

II. 報告事項（全 7 題）

1. 各種委員会報告

・地域支援事業等推進委員会

来年 3 月 4 日に推進リーダー導入研修を開催する。文書の発送はこれからになる。例年どおりだと 50 名程度が参加。

3 士会合同では、1 月 25 日に山梨県における地域ケアの実践として開催される。文書はこれから。2 月 19 日山梨県の委託事業として、指導者育成研修が開催される。

この 2 つを受けていただいた方は、研修会で読み替えができるとして推進リーダー導入研修を短時間で取得できる形にしたいと考えている。

4 士会では、「やまなし地域リハケアの推進を考える会」という名称。その研修会が 2 月 9 日に県立文学館で開催される予定。これから文書を発送する。内容としては PT・OT・ST の状況をケアマネに説明する。ケアマネの状況を PT・OT・ST へ説明する。その後、各会会長によるシンポジウムを行う予定になっている。

12 月 21 日、第 1 回目の地域支援事業等推進委員会を開催する。

アンケートについて、みなさんにご協力いただいて 460～470 くらいの返信があった。1 月の学会で報告を行いたい。

・訪問理学療法委員会

第 6 回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会開催報告について、詳細は別紙資料参照。

・特別支援教育委員会

2 月 11 日に研修会を行うよう準備を進めている。

2. 第 3 回新人教育プログラム研修会について

（高村副会長）

1 月 11 日に B-2・A-3、1 月 18 日に B-4、2 月 7 日に指定管理者研修（初級）を開催予定。

3. 学術集会レセプションについて（名取学術局長）
前回は報告させていただいたが、最終確認として報告させていただく。参加費は 3,000 円として、企画内容は今まで検討してきた内容で実施していく。

4. 巡回腰痛予防教室、地域リハ従事者研修について
（古屋社会局長）

巡回腰痛予防教室の講師派遣依頼について、小林浩一郎先生（山梨病院）を推薦した。山梨県教育庁からは平成 28 年度～29 年度の依頼であったが、来年度はまだわからないため、今年度は小林先生に対応していただくことになった。

地域リハ従事者研修については、実行委員として地域連携部の大野先生（富士川病院）に協力をしていただき、11 月 28 日に開催することができた。参加者は 74 名のうち 12 名が理学療法士でした。

5. 地域理学療法研修会報告 (三科福祉厚生局長)
11月24日19:00～山梨大学医学部キャンパス臨床講義棟大講義室において、「明日から活かせる連携とセラピストの役割」のテーマで開催された。小林会長にも挨拶をいただいて、滞りなく終了した。参加予定者としては200名の予定だったが、天候等の影響で116名となってしまった。例年どおりの参加者数にはなったと思う。アンケートについては別紙参照。

6. H28年度研修会について (井村企画局長)
・第2回目の研修について1案「リハビリテーション栄養について」と2案「ワークライフバランスについて」で検討している。今日連絡があり、1案の若林先生は難しい状況のため、他者で調整となる。1案で都合がつかないようなら2案で行う。
・公開講座について、敷島の会場が取れなかった。甲府の会場もいっばいで、現在山梨市市民会館とスコレーセンターが空いている。検討して決定させていただく。
・協会の補助金について、事業実施後振り込まれることになる。事業に必要な金額を立て替えていただくことは可能か？
→金額としては可能。処理の仕方について確認させてもらう。(事務管理局)

7. 事務管理局 (有泉局長)

①事務員の雇用について

12月12日に正式契約を行った。それに伴い、税務署にも関係書類を提出した。まだ業務内容について検討中。事務所のスロープ設置について、どのようなものがあるのかなど検討して、事務所の管理会社とも話し合いをしていく必要がある。備品や電話なども調べながら検討していく。電機関連の工事については、近場の業者に当たっていく。

②甲府市介護認定審査会委員の推薦依頼について

甲府共立診療所、恵信ケアセンター、湯村温泉病院からそれぞれ1名推薦があり、報告をした。

③会費未納者への対応について

前は40名ほどいたが、現時点で21名の未納者がいる。新人で手続き中の方が1名で、合計は22名。そのうち退職などで不明の方が9名いる。

④他職種の方からの研修会等の参加希望について

HPをとおして、はり・灸マッサージ師の方より他職種でも参加できる研修会があるかどうか問い合わせがあった。

企画している研修会で他職種が参加してもいいものについては参加可能。会員に限ったものは不可。といった内容で返答をしていく。

⑤その他

PTラーニングという会社から、HPへの掲載に関する問い合わせがあった。

→今回は会員への情報提供として対応していく。今後収益事業(広告費)をどうするかなど検討していく必要があると思われるのでご承知ください。

Ⅲ. その他

・カレンダー機能を活用して、スケジュール管理をお願いします。

・「リハビリテーションのつどい」の相談コーナーについての対応はどのようにするか？

→PT・OT・STで足並みをそろえたほうがいいのではないかと。

他士会の状況を確認の上、対応していく。

Ⅳ. 次回の理事会日程について

日時 平成29年1月24日(火)19:00～

場所 県士会事務所

連絡 1月20日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉)へ提出する。
議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。

Ⅴ. 会長より

11月下旬に自民党のリハを考える会の議員連盟へ齊藤事務局長と一緒に出席してきた。提出議案としては、厚労省の中にリハの部会がないのでリハビリテーション課をつくってもらいたいこと。50年来変わっていないPT・OT法について、介護予防事業など厚労省の見解はでているが、法的にはまだ医師の指示のもとで行うこととなっているので法改正をお願いする2点があがっていた。

10月10日協会の会館建設の役員会があった。当初はオリンピックが終了してから本格的に検討。その間にもいい物件があれば検討していくこととなっていた。建設のための積立基金8億程度たまっている。公益法人になったため、2021年までにそのための事業を行わなくてはいけないこともあり、会館建設の方向で検討していくことになった。

10日夜後藤県知事のご母堂の通夜があり出席。

14日連盟の総会があり、日本理学療法士連盟企画局長・青年部長友清直樹氏に記念講演をしていただいた。総会では、年2回の研修会の会費を連盟の個々の会議の費用と日本理学療法士連盟の年会費にあてることが承認された。